

保管用

施工説明付き

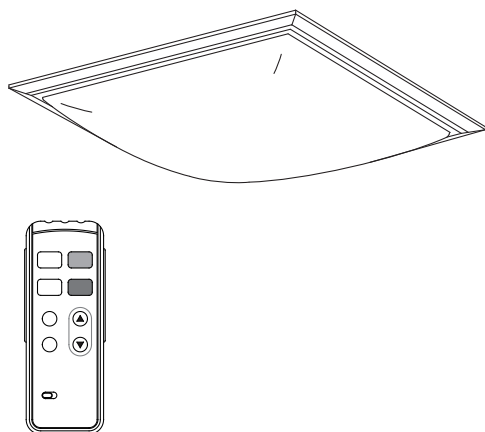
取扱説明書

器具形名

～4.5畳: DCL-39736W・DCL-39736Y

～6畳: DCL-39737W・DCL-39737Y

住宅用照明器具 (LEDシーリングライト)



もくじ

ご使用前に

安全上のご注意	2
各部のなまえと付属部品	3
照明器具を取り付ける	4
照明器具を取り外す	6
各部のはたらき	7

ご使用方法

あかりをつける	8
リモコンの便利な使いかた	9

必要なときに

故障かな?と思ったら	11
お手入れについて	11
ご使用上に関するお知らせ	裏表紙
仕様	裏表紙
保証についてと点検方法	裏表紙

お客様へ

このたびはお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しく安全にお使いください。
特に、ご使用前に「安全上のご注意」(2～3ページ)を
必ずお読みください。
本説明書は大切に保管してください。

工事店様へ

- 本説明書は必ずお客様にお渡しください。

「人」への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

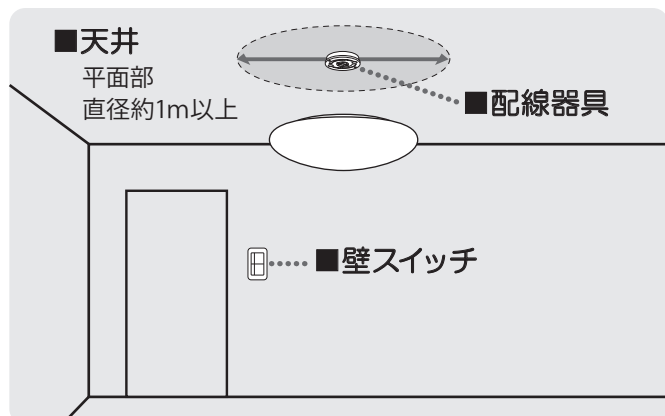
警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

禁止 してはいけない内容です。

厳守 実行しなければならない内容です。

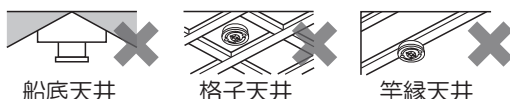
警告



天井

必ず守る ●必ず上図のような平面部の直径が約1m 以上の天井に取り付ける
落下によるけがのおそれがあります。

●凹凸のある場所に取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。



●傾斜した場所に取り付けない
火災、落下によるけがのおそれがあります。

◎この器具は水平天井面取り付け専用です。
※傾斜天井用アダプタ (別売: 品番DP-39421) を使用した場合は、45度までの傾斜天井に取り付けできます。
(詳しくは6ページをご参照ください。)

配線器具

●がたついたり、破損している配線器具 (ローゼット・引掛シーリング) には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



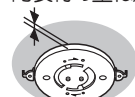
●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。

内装材の重ね貼りなどにより出しりが小さくなったもの



禁止



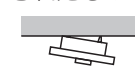
ローゼット10mm未満

斜めに取り付けられたもの



引掛シーリング19mm未満

シーリングハンガーが取り付けられたもの



ケースウェイに取り付けられたもの



電源端子露出タイプ



電源端子

壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



必ず守る

◎販売店、工事に交換を依頼してください。
(取り外しには資格が必要です。)

その他

分解禁止 ●器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、工事店、お買い上げの販売店、または弊社「CSセンター」にご相談ください。

●交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。



必ず守る

●アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

●本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

●本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

- 付属の梱包材は取り除いて使用する。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

- カバーは確実に取り付ける。落下してけがのおそれがあります。



接触禁止



水ぬれ禁止



禁止

- 点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらないやけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない

火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

- カバーを外した状態で点灯したLEDを長時間直視しない

目の痛みの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

照明器具

本体取り付け用付属部品

アダプタ (1個)

電源コネクタ

配線器具

配線器具

丸型フル引掛シーリング(1個)

引掛シーリング用木ネジ (2本)

カバー取付具(3個)

本体電源コネクタソケット

リモコン受信器
常夜灯

カバー

本体

LED

※器具本体裏面に3カ所ついている黒スポンジは取らないでください。(本体回転防止のため必要です)



黒スポンジ

リモコン付属部品

リモコン (1個)

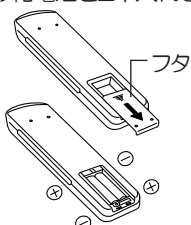
操作方法は、7~10ページ参照



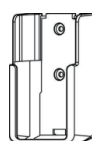
単4形乾電池 (2本)



- リモコンのフタを開けて、単4形乾電池を2本入れる。



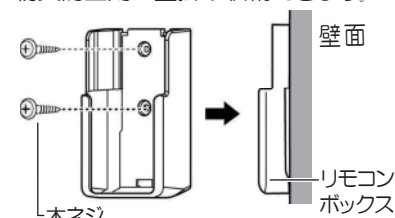
リモコンボックス (1個)



リモコンボックス用木ネジ (2本)



- リモコンボックスを使用して、紛失防止用に壁掛け収納できます。



照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

※必ず壁スイッチと併用してください。

裏表紙「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 天井についている配線器具を確認する

天井に右記のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

→ **2** の作業へ進んでください。

右記以外の配線器具の場合、または、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。

◎販売店、工事に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。

※工事には資格が必要です。

天井からの出しりが
22 mm の配線器具

丸型フル引掛
シーリング



丸型引掛
シーリング



フル引掛
ローゼット

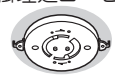


角型引掛
シーリング



天井からの出しりが
11 mm の配線器具

引掛埋込ローゼット



引掛埋込ローゼット (ハンガーなし)



2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる

アダプタのツメ (2カ所) を配線器具のスライド穴に入れる

②カチツと音がするまで

アダプタを右に回して取り付ける

③コネクタを仮固定穴に挿入する

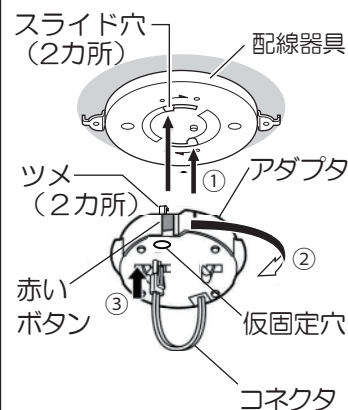
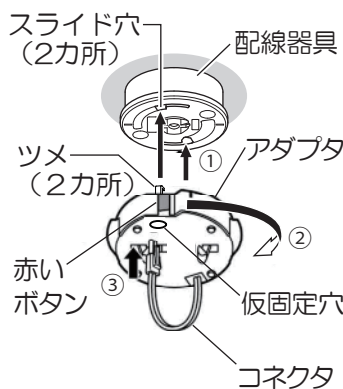
確認 赤いボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する



警告



アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。



3 アダプタに本体を押し上げて取り付ける

アダプタに本体の穴を合わせて押し上げる

※配線器具により本体の取付位置が異なります。
右記を参考に押し上げてください。

※器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。
本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

確認

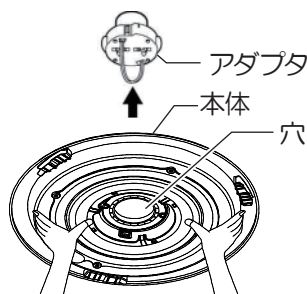
本体がグラグラする・簡単に回転する場合は、
再度本体を押し上げてください。



警告

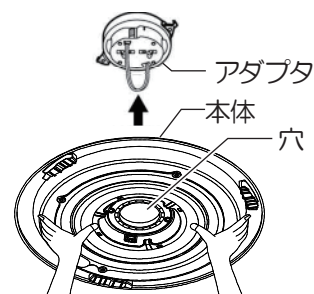
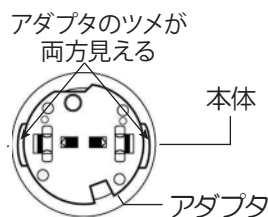


本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。



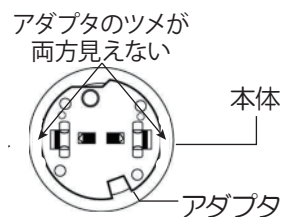
カチツ、カチツと
2度、音がするまで
押し上げる

アダプタの本体取り付け位置



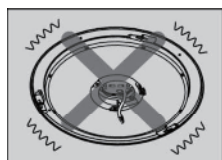
カチツと1度、音が
するまで押し上げる

アダプタの本体取り付け位置

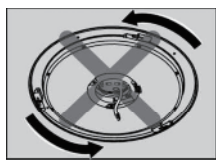


4 本体が正しく取り付けられているか確認する

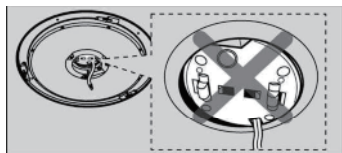
本体がグラグラする



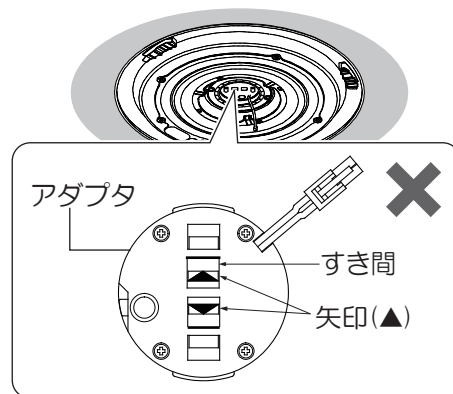
本体が簡単に回転する



アダプタと本体が斜めにずれている



アダプタの矢印(▲)の先端にすき間がある

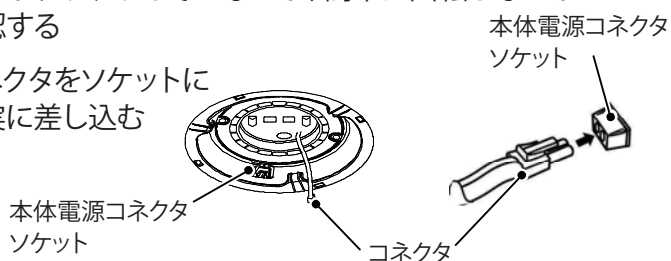


上図の場合、正しく取り付けされていないので再度、前ページ手順**3**を行ってください。

5 コネクタをソケットに差し込む

① 本体がグラグラしていないか、簡単に回転しないか確認する

② コネクタをソケットに確実に差し込む



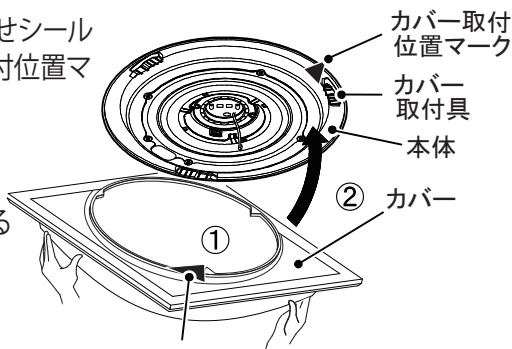
確認

- 引っ張って、コネクタが外れないことを確認する。
- 本体がグラグラしている状態や簡単に回転する状態でコネクタを差し込んだ場合は、コネクタを外して（☞ 6ページ「照明器具を取り外す」手順**1**参照）本体を押上げる（☞ 前ページ手順**3**参照）

6 カバーを取り付ける

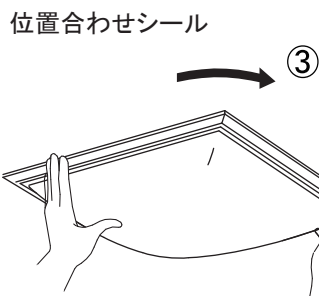
① カバーの位置合わせシールを本体のカバー取付位置マークに合わせる

② カバーを持ち上げる



③ カバーを止まるまで右に回す

④ カバーを軽く下に引っ張って、外れないことを確認する



警告



本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

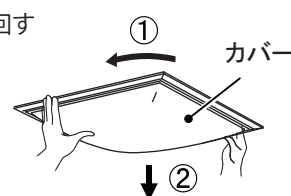
注意



カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

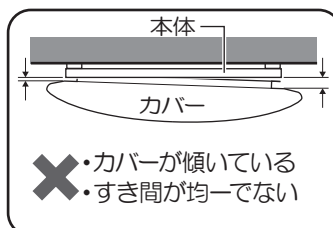
カバーの外しかた

- ① カバーを左に約90度回す
- ② カバーを外す



確認

- カバーが傾いていないか、すき間が均一になっているか確認する。
→カバーが傾いたり、すき間が均一でない場合は、カバーの凸部が受け具にはまっていない可能性があります。
カバーを左に回して外し、再度、手順**6**を行う

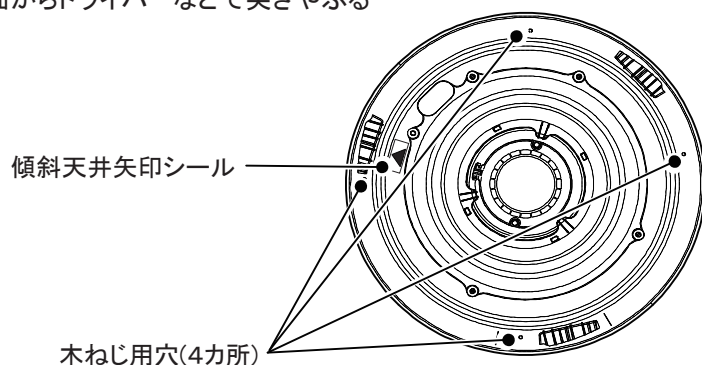


- カバーが傾いている
- すき間が均一でない

本体が安定しない場合や傾斜天井(45度以下)に取り付ける場合

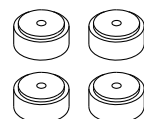
●別売のスペーサー(4個)と木ねじ(4本)を使用して固定してください。

- ①本体の木ねじ用穴目隠しシール(4カ所)を
本体の表面からドライバーなどで突きやぶる



別売スペーサー・木ねじセット

形名 DP-39421



スペーサー
(4個)

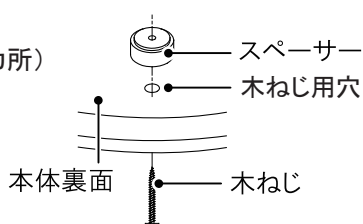


木ねじ
(4本)

- ②スペーサー(別売)のはくり紙をはがし、
①の木ねじ用穴に貼り付ける

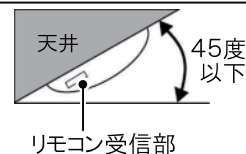


- ③アダプタに本体を取り付けてから、
補強材に木ねじで本体を固定する(4カ所)



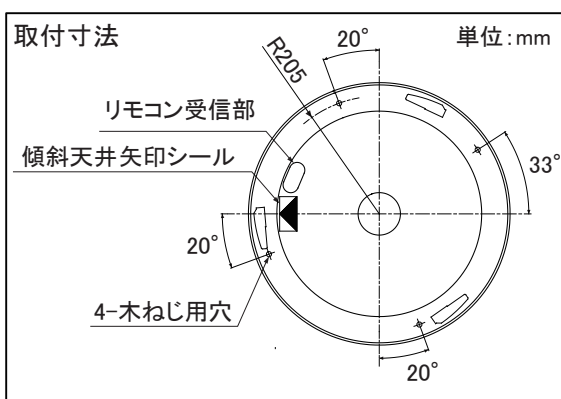
45度以下の傾斜天井に取付ける場合

傾斜天井矢印シールが、傾斜方向の下側になるように取り付けてください。



お願い

引掛シーリングボディに照明器具の荷重が加わらないように、本体を木ねじで必ず固定してください。落下してけがの原因となります。

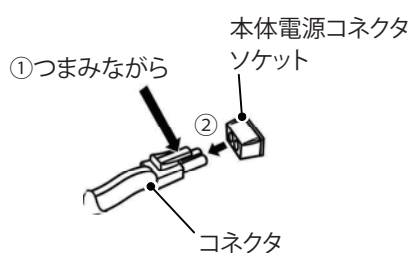


照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

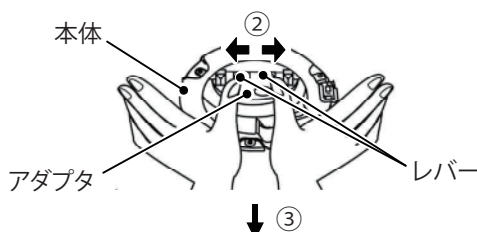
1 コネクタを外す

- ①コネクタをつまみながら
②ソケットから引きぬく



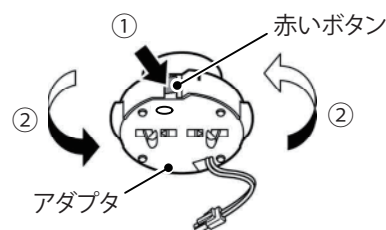
2 本体を外す

- ①本体が落ちないようにしっかりと支え、
②レバーを矢印の方向(左右)に広げたまま、
③本体をゆっくりと下げて、外す



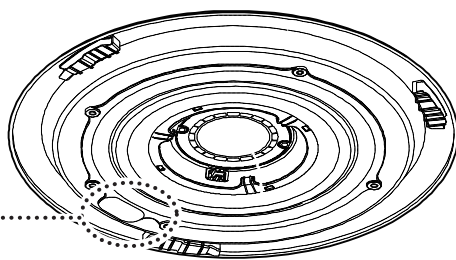
3 アダプタを外す

- ①赤いボタンを押しながら
②左に回す



各部のはたらき

リモコン受信器 (本体)



リモコン受信部

リモコンからの信号を受けます。
傷つけたり、汚したりしないで
ください。

リモコン

送信のしかた

必ず「リモコン送信部」を
器具に向けて操作して
ください。



ご注意

リモコン本体の前面には保護シート
(透明)が貼ってあります。

リモコン送信部

操作するときは、ここを照明器具へ
向けてください。

リモコン

シーン (→8ページ)

シーンに記憶させた明るさで点灯します。

常夜灯 (→8ページ)

常夜灯(LED)が点灯します。

メモリ (→8ページ)

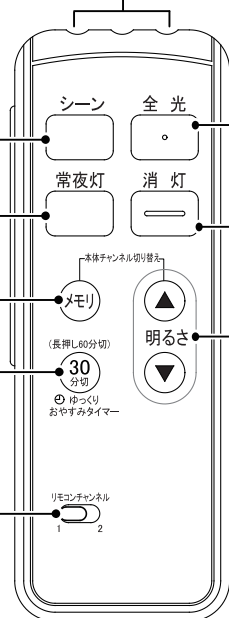
好みの明るさをメモリ(記憶)する
ときに使用します。

ゆっくりおやすみタイマー(60分、30分)(→10ページ)

30分または60分後に照明を消灯させます。

CH切替 (→9ページ)

器具のチャンネルを選択します。



全光

全光点灯します。

・消灯した状態からは、3秒程でゆっくり点灯します。

消灯

消灯します。

・全光点灯した状態からは、3秒程でゆっくり消灯します。

明るさ (→8ページ)

明るさが変わります。

・全般照明: 100～約10%

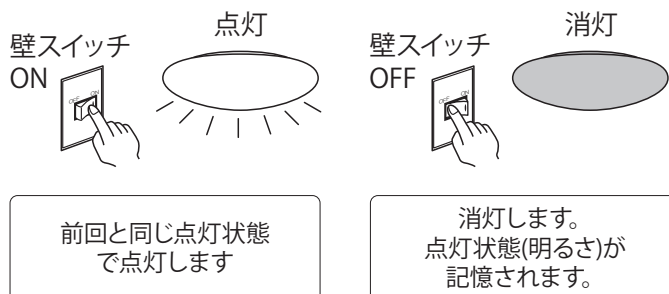
・常夜灯: 6段階の明るさの調整ができます。

注) 常夜灯が点灯していない状態では
操作できません。

あかりをつける

壁スイッチで照明器具を操作する

点灯・消灯する



点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く（約1秒以内）OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。



●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。
点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

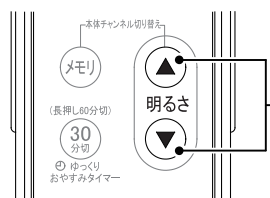
お知らせ

- 壁スイッチを「OFF」にする前にリモコンで消灯した場合は、再び壁スイッチで「ON」にすると、常夜灯が点灯します。
- 「シーン」のお買い上げ時の設定は、約70%調光です。リモコンでお好みの明るさに設定することができます。
- 壁スイッチで切り替えて常夜灯を点灯した場合は、リモコンで設定した常夜灯の明るさで点灯します。

リモコンでLEDを調光し記憶させる

壁スイッチはONの状態にしてください

●全光点灯は100%～約10%、常夜灯は6段階の明るさの調整ができます。

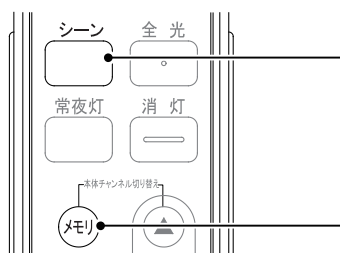


照明が点灯している状態で、「▲」または「▼」ボタンを押す

- 1回押すと、1段ずつ明るさが変化します。
- 押したままにすると、連続して調整できます※。
- 明るさが上限・下限になると、「ピーッ」と音が鳴ります。

※冬季など周囲の温度が低い場合、点灯直後は連続して調整できないことがあります。
その場合は、1回ずつ押して調整してください。

●お好みに調整した照明の明るさを、シーンボタンにメモリ(記憶)させることができます。



「メモリ」ボタンを押しながら、「シーン」ボタンを押す

- 「ピーッ」と音が鳴って、現在の調光状態がメモリされます。
- すでにメモリした設定を変更する場合は、同じ手順を繰り返してください。

工場出荷時は、以下に設定してあります。
シーン: 明るさ約70%

リモコンの便利な使いかた

複数のリモコン照明器具を操作する

照明器具のチャンネルを変更できます

リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

- 複数の器具を同時に点灯できます。

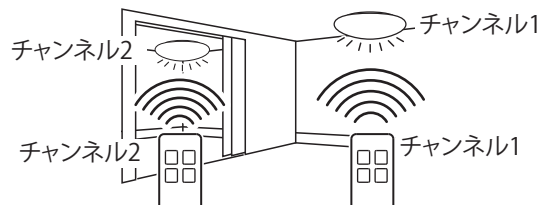
※器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。

(例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



- 近くの器具を別々に点灯できます。

(例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



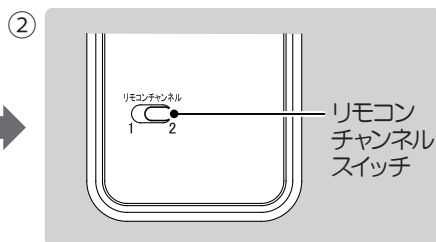
チャンネル設定を変更する場合

○お買い上げ時(工場出荷時)は照明器具・リモコンのチャンネルは「1」に設定してあります。

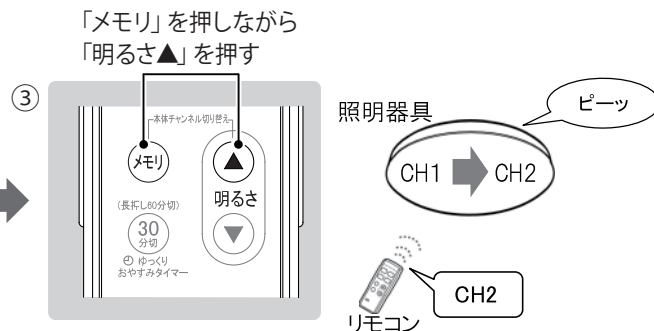


チャンネル設定を行う
器具(1台)のみを壁ス
イッチONにする

(周囲のリモコン照明器具は、
必ず壁スイッチOFFにする※1)



「リモコンチャンネル」スイッチを「2」
に合わせる



- 「メモリ」を押しながら「明るさ▲」を押す。
- 「ピーッ」と音が鳴って、照明器具のチャンネルが「2」に変更されます。
- リモコンのチャンネルスイッチが「2」で、全光・シーン常夜灯・消灯等の操作ができることを確認してください。
- 再度設定を変更する場合は、手順②、③の操作を繰り返すごとに照明のチャンネルは「1→2→1・・・」と変更されます。

メモ

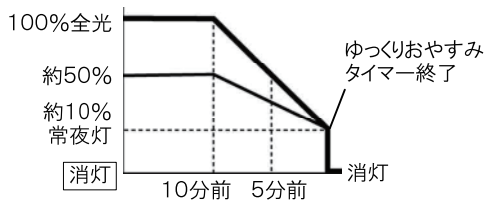
本製品以外の照明を操作する場合は、チャンネル設定方法が異なります。ご使用の照明器具の取扱説明書をご覧ください。

※1: 周囲のリモコン照明器具が壁スイッチONの場合、その器具もチャンネルが切り替わることがあります。

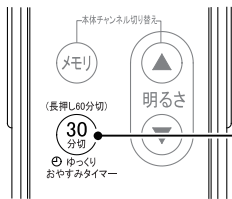
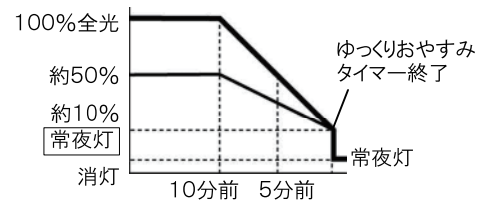
ゆっくりおやすみタイマーとは

設定した時刻の10分前から少しずつ暗くなっていき、消灯または常夜灯が点灯します。

消灯にする場合



常夜灯にする場合



「30分切」を押す、または「30分切」を長押しする

- 「30分切」を押すと「ピピッ」と2回音が鳴り、30分後に消灯します。
- 「30分切」を長押しすると「ピピピッ」と3回音が鳴り、60分後に消灯します。

■消灯／常夜灯の設定

チャンネルの設定によって、ゆっくりおやすみタイマーで消灯するか常夜灯にするかを選ぶことができます。

お買い上げ時は、本体・リモコンが「CH1」に設定されています。チャンネル設定のしかたは、9 ページ をご覧ください。

- 消灯にする場合:「CH1」
- 常夜灯にする場合:「CH2」

お知らせ

- ゆっくりおやすみタイマーを解除する場合は、点灯ボタン(「全光」「シーン」「常夜灯」「消灯」ボタンなど)を操作してください。
- 常夜灯が点灯しているときにゆっくりおやすみタイマーを設定した場合、チャンネル設定が「CH1」「CH2」どちらの場合でも、30分後又は60分後に消灯します。この場合、ゆっくり暗くなりながら消灯しません。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現 象	考えられる原因	処 置	参照ページ
本体が取り付けかない	アダプタが正しく取り付けしていない	①アダプタを外し ④ 6ページ ③ ②再度、アダプタを取り付ける ④ 4ページ ②	
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度外し、 ④ 6ページ ① ②コネクタを再度、差し込む ④ 5ページ ⑤	
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする ④ 「壁スイッチで照明器具を操作する」	8ページ
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある	壁スイッチをOFFにする	—
		リモコンもしくは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替える	④ 8ページ 「あかりをつける」
勝手に消灯する	「ゆっくりおやすみタイマー」セット中である	「ゆっくりおやすみタイマー」を解除する	④ 10ページ 「ゆっくりおやすみタイマーをセットする」
リモコンで操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	④ 3ページ
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	④ 「各部のなまえと付属部品」
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを変更して操作する	④ 9ページ 「複数のリモコン照明器具を操作する」
リモコン操作時にちらつく	調光動作をしている	調光(下限付近)動作時、ちらつく場合がありますが異常ではありません。調光動作が終わるとちらつきも止まります。	

上記の処置を行っても
現象が続く場合

- ①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる
②器具のチャンネルを変更する ④ 9ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、または弊社「CSセンター」にご相談ください。

お手入れについて

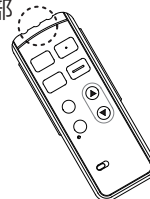
安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- 木材、紙、布等の場合は、水拭きせずにやわらかい布またははたきで、こまめにホコリを落としてください。
- リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。
- 電池は半年を目安に取り替えてください。
※付属の乾電池は、最初に使用するために用意しているもので、半年に満たないうちに消耗する場合があります。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

リモコン
送信部



ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、天井面が変色することがあります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがないリモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができません。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

仕様

品番	使用電圧	周波数	消費電力		入力電流
DCL-39736W・DCL-39736Y	AC100 V	50/60 Hz共用	24W	リモコンOFF時(待機時状態) 0.5W 以下	0.25A
DCL-39737W・DCL-39737Y			28.3W		0.29A

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。) 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。
- 品番は器具本体表示をご参照ください。

保証について

1. 保証について
この商品の保証期間は3年です。但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
※保証期間の例外
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
2. 保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。
3. 補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検方法

1. 明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目

- ・LEDが切れていませんか。
- ・正常に点灯しますか。
- ・天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
- ・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
- ・カバー(セード)等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。

2. 異常時の処置

異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談は **CSセンター (0570) 003-937 (ナビダイヤル 全国共通)** へご連絡ください。

受付時間(月～金曜)9:00～17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付していません。